

熱海市は、将来都市像に「住むひとが誇りを訪れるひとに感動を誰もが輝く楽園都市 熱海」を掲げ、「住んでみたい」「訪れてみたい」、そしてそんな街に「投資をしたい」という「選択される街」を目指して、シティプロモーション活動に取り組んでいます。

『熱海NEWS LETTER』は、その活動の一環として、熱海の旬な情報をお伝えするために、定期的に発行しています。

右の写真は、初夏の熱海を彩る世界三大花木ジャカラнда。昨年6月にはジャカラнда遊歩道も完成。



LINE UP

ラインナップ

S

【特集1】熱海に華咲く、芸妓の踊り・・・P2

熱海の春を芸妓の華で彩る『熱海をどり』と、週末に芸妓の粋な舞を鑑賞できる『湯めまちをどり 華の舞』についてご紹介します。

E

【イベント】4月～6月の主なイベントをご紹介します・・・P4

- ◇初夏の熱海を彩るジャカラнда
- ◇意外と喫茶 昭和レトロな喫茶をめぐる
- ◇春季海上花火大会

A

【熱海のココスキ!!】 「やっぱり、人間が好き」・・・P5

熱海芸妓置屋連合組合西川千鶴子組合長に、熱海芸妓最大の見せ場である「熱海をどり」や、踊りの上達の秘訣についてお話を伺いました。



春といえば百花繚乱。早春から熱海梅園の梅、あたま桜などさまざまな花が熱海の街を彩ってきました。春から初夏に向けてもソメイヨシノをはじめジャカランダなど、まだまだ多くの花が熱海を彩りますが、今回の特集では花といっても、熱海の華である熱海芸妓についてご紹介します。

熱海芸妓最大の見せ場 “熱海をどり”

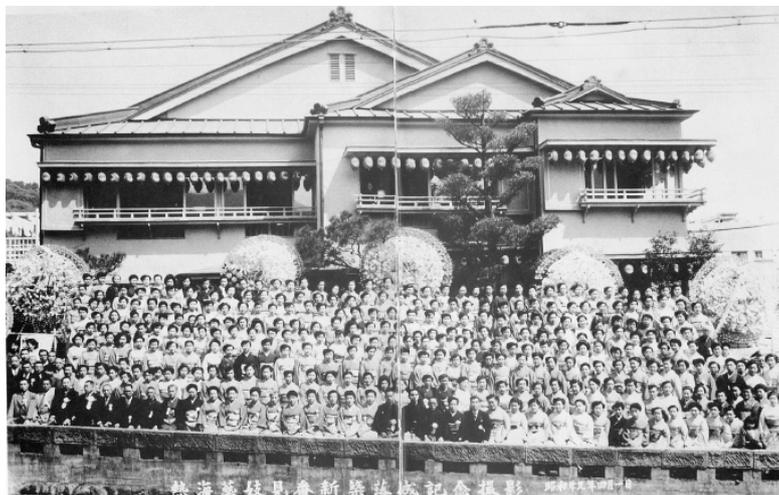
平成 26 年 4 月に 25 周年を迎えた熱海芸妓最大の見せ場である『熱海をどり』は、毎年春(4月下旬)に開催され、熱海芸妓が修練した踊りや三味線・唄などの伝統芸能を披露する場となっています。

熱海花柳界の始祖は明治 10 年に熱海に移り住んだ坂東三代吉(本名 樋口ろく)であると言われています。坂東三代吉は東京都牛込区出身で、幼年の頃遊芸を学び、踊りは坂東流、長唄は杵屋流で、熱海に移り住んでからは、熱海の人とは違って踊りや長唄の習いに通ったようです。以来、多くの弟子へと受け継がれ、熱海温泉の発展とともに花柳界も発展し、昭和 29 年には芸妓が踊りや唄の練習をする稽古場として熱海芸妓見番歌舞練場を落成、昭和 30 年代には最盛期を迎えました。

しかし、時代の変化とともに伝統文化の伝承は一時衰退しかけましたが、平成元年に「芸者の芸道振興を通じて熱海温泉らしい活性化を図ろう」と、熱海芸妓置屋連合組合を中心に、市、商工会議所、観光協会、旅館組合が団結し、伝統芸能の保存育成に立ち上がりました。同年には静岡県からの支援も受け熱海芸妓見番歌舞練場を新装改築し、平成2年4月 28日にはその祝賀とこけら落としを兼ねて『第1回熱海をどり』を開催しました。

今年第 26 回目(震災で第 22 回は中止)の『熱海をどり』の演目は、「伊勢参宮(いせまいり)」、「福来寄せ玉手箱(ふきよせたまてばこ)」。

●『第 26 回 熱海をどり』 4月28日(火)・29日(水祝) 第一部/開演午前11時 30 分 第二部/開演午後2時 30 分
場所: 熱海芸妓見番歌舞練場(熱海市中央町 17-13) 入場料: 4,000円(前売券3,500円 4/15まで)
お問合せ: 熱海芸妓置屋連合組合 Tel 0557-81-3575



熱海芸妓見番落成式の様子(昭和29年4月1日)



<写真はいずれも昨年(平成26年)の熱海をどりの様子>

芸妓の踊りを間近で鑑賞できる“湯めまちをどり 華の舞”

熱海芸妓見番歌舞練場で開催されている『湯めまちをどり 華の舞』では、お座敷でしか見ることができないと思われる芸妓の伝統的な踊りを間近に見ることができます。熱海温泉活性化の事業として平成10年6月6日に始められ、以来毎週土曜日・日曜日に定期的に開催されています。このように芸妓の踊りが定期的に開催されているのは全国的にもまれであると言われてています。

舞台の緞帳が上がると、地方(ぢかた)の心地よい三味線の音に合わせ、きれいな着物をまとった立方(たちかた)が登場します。立方の背筋のピンとした優美な踊りは、見るものを圧巻するまさに粋な舞。舞台での演目が終わった後には、記念写真の撮影などの観客のリクエストにも気軽に応じてくれます。花組・柳組に分かれて芸妓が土日で交替するとともに、1か月に一度演目も変わるので、何度でも足を運ぶ価値がある人気の舞台です。

●『湯めまちをどり 華の舞』 毎週土曜日・日曜日 午前11時より1回開催(公演時間は30分程度)

料金: 1,300円(芸妓踊り・顔見せ・お菓子お茶付き) 場所: 熱海芸妓見番歌舞練場(熱海市中央町17-13)

お問合せ: 熱海芸妓置屋連合組合 Tel 0557-81-3575

熱海芸妓お二人に聞いてみました

熱海芸妓歴17年 美保さん

花柳界は素敵だと思いきや、芸妓となりましたが、実際に踊りを習い始めると、手の動き足の動きがばらばらになってしまい、お姐さん方は何でこんな



ことができるんだろうと思いました。ですが、一つ一つできるようになることが嬉しくて、お座敷が終わり家に帰ってからも振りの練習をよくしていました。私が見習いの頃は、踊り・行儀作法・唄の試験があり、師匠の許可がないと受験できませんし、合格しないとお客様の前で踊れません。一生懸命稽古しているとお姐さん方が応援してくださり助けられました。この良き熱海芸妓の伝統を私も引き継いでいきたいです。

『熱海をどり』は芸妓になって3~4年目に初めて踊らせていただき、以来、毎年踊らせていただいています。演目も役柄も異なるので、慣れるということはありません。群舞ですので、周りの皆さんにご迷惑をおかけしないようにいつも気にかけています。今年の「伊勢参宮(いせまいり)」という演目は、ノリのよい楽しい曲になっていますので、ぜひお楽しみください。

『華の舞』では柳組で踊らせていただいています。前日お座敷でおもてなしをさせていただきお客様が翌日公演にきてくださり、舞台に向かって名前を呼んでくださると、ものすごく親近感が湧き、客席とも一体感を感じます。最近では熱海市内と同様に芸妓見番にも若い人や外国人のお客様も増えていますので、なお一層踊りに磨きをかけていきたいです。

熱海芸妓歴2年 笑千代さん

芸妓という夜のお座敷までは時間の余裕があり、朝はのんびりしているのではないかと想像しがちですが、実は違います。月のほとんどは芸妓見番やお



師匠さんのお宅で行儀作法や立ち居振る舞いのお稽古はもちろん、踊りや鳴りものなどを習っており、夕方からは美容院で髪をセットし着物に着替えお座敷に行くという、めまぐるしいスケジュールなんです。基礎から日本舞踊を習い始めたのですが、芸事には終わりがないので持ち前の負けん気を生かして日々精進しています。

昨年初めて『熱海をどり』の舞台に上がらせていただいたのですが、舞台上で踊れる喜びと同時にすごく緊張しました。今年も昨年に続き出演者の中ではもう一人の笑千代ちゃんと共に最年少なのですが、お姐さん方の足を引っ張らないようにしたいと、稽古の真っ最中です。

『華の舞』では、前座として踊らせていただいています。熱海市内にもぎやかで、若い人が増えていると感じますが、芸妓見番にも私と同年代のカップルやグループがお客様として来てくださります。芸妓という伝統文化に同年代が興味をもってくれたことも嬉しく思いますし、一緒にスマホで撮った写真をツイッターやフェイスブックなどにアップして下さるので、それが次のお客様につながっていくという情報の広がりにも驚いています。

見

初夏の空を青紫色のブーケが彩る
“ジャカラнда”

6月初旬～中旬に開花



世界三大花木であるジャカラндаは、小さな青紫色の花を房状につけます。昨年（平成26年）6月にはジャカラндаが106本植栽された国内都市部では最大集積のジャカラнда遊歩道が熱海海岸沿いのお宮緑地に完成しました。

熱海梅園の梅、糸川のあたま桜に続く新たな花の新名所を、ぜひ一度ご覧ください。

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

食

意外と喫茶
昭和レトロな喫茶店をめぐる

随時

熱海には昭和の文豪が愛した喫茶店など、昭和から続く昔ながらの味を守っている純喫茶があります。もちろん、カフェスタイルの新しいお店もありますので、新旧入り混じった独特の文化があります。

細い路地にひしめき合う店。春の道草さんぽをするレトロで楽しい発見がいっぱいあります。



◆お問合せ 熱海市観光推進室 TEL 0557-86-6195

見

600種4000株のバラがお出迎え
「熱海ローズフェスティバル2015」

3月28日(土)～7月17日(金)

アカオハーブ&ローズガーデンでは、多彩なバラが花開くほか、イベントも盛りだくさんです。
(入場料有料)。



◆お問合せ アカオハーブ&ローズガーデン TEL 0557-82-1221

見

市街地から近いお花見スポット
熱海城桜まつり

3月21日(土祝)～4月5日(日)

市街地からほど近い熱海城は、桜と海のコントラストが美しく、海上花火を眼下に望むことができます。

ジェット足湯に入りながら、相模湾の絶景も楽しめます。(熱海城への入館料有料)

◆お問合せ 熱海城 TEL 0557-81-6206



遊

つつじの花が山を染める
「姫の沢公園花まつり」

4月25日(土)～5月6日(水祝)

日本の都市公園100選にも指定されている姫の沢公園。この時期は全体が色とりどりのツツジで埋め尽くされ、たくさんの鯉のぼりが泳ぐ風景が見られます。

また、園内にはアスレチック(無料)も常設されています。

◆お問合せ 姫の沢公園施設事務所 TEL 0557-83-5301



見

熱海で春花火!! 「熱海海上花火大会」

4月4日(土)・5月9日(土)
20:20～20:45

熱海湾では、春も花火大会が開催されます。

この時期は、気候も良く、屋外で花火大会を見るにはオススメです。

今年初の花火を熱海でゆったり楽しんでください。

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222



まだまだ、ある。イベントカレンダー

4月	26日 魚祭り(熱海魚市場)
	1～5日 初島ところ天祭り(初島港特設市場)
	3・4日 春のあたまビールまつり(渚親水公園)
5月	4・5日 春のそれ伊豆山伊勢海老磯まつり (伊豆山海岸)
	9・10日 TAKATA-FESTA in 熱海(渚親水公園)
	17日 海辺のあたまマルシェ(熱海銀座通り)
6月	23日 湯かけまつり(泉公園)
	上～中旬 ほたる観賞の夕べ(熱海梅園)

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222



にしかわ ちづこ
西川 千鶴子 (芸名 松千代) さん
熱海芸妓置屋連合組合 組合長

— 熱海芸妓置屋連合組合西川千鶴子組合長に、熱海芸妓の最大の見せ場である『熱海をどり』について伺いました。

西川 熱海芸妓は昭和 30 年代の全盛期には、熱海芸妓置屋連合組合に登録している芸妓が 1,000 人以上と、日本でも一番大勢所属している見番でした。時代の変化とともに伝統文化の伝承が一時期衰退しかけてましたが、熱海温泉と花柳界の活性化のために、熱海芸妓見番歌舞練場の新築改修の記念として平成 2 年より『熱海をどり』が始まりました。京都の都をどりや東京の東をどりと並ぶ代表的なイベントに育てたいという考えが当時の組合の考えだったと思います。

現在、熱海芸妓は 130 人となっていますが、中身では日本一の見番を目指そうと、踊り・唄・鳴り物・お花・お茶・行儀作法などの稽古に、芸妓それぞれが日々精進しています。4 月 28 日・29 日に開催する『熱海をどり』は、そういった日ごろの鍛錬を披露する場でもあり、お客様に踊りを見ていただき生の声を聞くことができる貴重な公演でもあります。総勢

30 名の立方や地方しか出演できませんので、『熱海をどり』に出たいという強い気持ちで稽古に取り組む芸妓が出演しているのだと思います。

— 西川組合長は、踊りの名手としても名高いですが、お稽古などで意識されていることがありましたら教えてください。

西川 若い頃はお座敷から帰った後も、自宅の鏡で姿を見ながらよく踊りの練習をしたものです。師匠に振りを習っているときは、“自分のもの”にするにはどうしたらよいかということを中心に考えながら踊っています。

また、踊っている姿を写真に撮ってもらい、自分では見えない姿がどのように見えるかということも研究しています。それに踊りというのはお茶やお花・恋文を書くなどさまざまな描写がありますが、日常の経験の積み重ねから得るものが多くあります。人生のなかでさまざまなものを経験するというのは多くのものが得られる機会が増えるということですから、いろいろな経験を一生続けていくものを決めていけばよいと思っています。

— 平成 10 年から毎週土日に『華の舞』を開催されていますが、全国的にもこういった芸妓文化に触れる機会があるというのは珍しいそうですね？

西川 『華の舞』のように毎週芸妓の踊りを公演しているのは、全国的にも珍しいと思います。最近は若いお客様も増えてますし、特に日曜日は 2 階席まで空いている席はほとんどないといった盛況ぶりでありがたいことです。土日以外でも芸妓の踊りの稽古風景を見るために芸妓見番を訪ねて来る方もいらっしゃいます。

私たち芸妓が PR していくのはもちろんのこと、地元の方にも『華の舞』に一度足を運んでいただき、芸妓文化に触れ、地元の口コミとして後押ししていただきたいと思っています。

— 最後に、熱海芸妓歴 60 年という西川組合長の、“熱海のココスキ！” なことがありましたら教えてください。

西川 (2 ページで紹介した) 笑千代さんは「熱海城から見える相模湾側の熱海海岸沿いの夜景と滝知山公園から見える駿河湾を望む夜景がパワースポット」だと言います。美保さんは「海辺で生活しているので、ファーム高輪でお茶を飲みながら海を望む景色が“THE 熱海”という感じで癒される」と言います。

私はやはり「人」が好きです。熱海は東京から近く海も山もありますが、観光地として人の触れあいというのが重要だと思っています。私は幼少の頃熱海に引越してきて、今の救世会館の水晶殿から熱海の夜景を見たとき、東洋のモナコだと感激しました。それ以来根っからの熱海ファンです。観光で訪れる皆さんにとっても、ホテルのフロントの人、タクシ一の運転手さんなど、熱海で出会う人が素敵であれば旅の思い出もすごく素敵ですものね。やはり人とのふれあい、人間が大好きです。



熱海をどりで優美に舞う松千代さん